



片づけを考える

○「自分のこだわり」を持つ

新緑のまぶしい季節です。いかがお過ごしですか。

暦では、この時期は夏の始まり「立夏」になります。二十四節気では、春夏秋冬それぞれに「立」がつく節気名がありますが、「立」と「夏」が並び立夏は力強さが感じられて好きな季節です。

最近、「暮らしの達人」と言われる色々な分野の人が、多くの本や雑誌で季節を楽しみ、モノに執着しない暮らしぶりを語っています。

インタビュー記事と家の写真からモノの数が少なくても、優雅に暮らしているのを見て取れます。素敵だと思います。

そう思えるのは、「暮らしの達人」の考え方に揺るぎがないからだと思えます。考え方の軸となるものにブレがないからです。

こういう人々は生き方に対して自分の哲学を持っています。それゆえ、暮らしにこだわりが持て、それがモノの持ち方にも及んでいるのがわかります。

読み手は、すっきりとした写真の部屋に惹かれると同時に、その暮らしができる生き方をしている人に魅かれています。

生き方に関して、一家言を持つ程の力はなくても、あればそれに越した事はないですが、暮らしにこだわりを持つ事が出来れば、自分の中でそれが軸になるのでは？と思えます。

軸が立つとそれが指針になりモノに対する意識や価値観も変わってきます。また、迷った時にも元に戻れる目印にもなります。

整理とは、「要、不要を分けて不要をその場から取り除くこと」を言いますが、この不要の線引きが難しいと感じる人が多く、セミナーでは「どこで線引きをしたらいいのか」という質問がよく出ます。

目安としての例は話していますが、この答えも暮らしにこだわりが持てれば、軸が生まれ、それがものさしになり線を引く位置がわかってきます。

単純に達人の持つモノの数だけを真似して数を減らしたところで、なし崩しにまたモノが増えてしまうのは、その人のこだわりまでを見抜いていないからです。

とは言え、達人のこだわりをいきなり取り入れてもしっかりこないものです。それは、達人のこだわりレベルがかけ離れている事もあります。つまりは、他人のこだわりだからです。

そこは、真似ではない自分のこだわりを見つけていかなければなりません。それが、自分だけの強い軸になっていくのです。

数多、出回っているすべての分野での整理の自己啓発本、さりげない日常のエッセイの類い、その様な読み物などから自分の強い軸のためのこだわりのヒントをもらえばいいのです。

「朱夏通信」の朱夏とは、五行説で人生の盛りを意味しています。朱い夏を私もこだわりを持って立っていたいと思います。



朱夏（しゅか）通信（17）

季刊 朱夏らいつ



出張セミナーのご案内

- 一般向け 「ポイントを知って始める基本の整理収納」「シニア世代の家の片づけ方」「捨てられない人の整理術」
- PTA 研修 「片づけ上手な子にする為にお母さんが知る整理収納」
- 企業研修 「5Sから考える職場の整理収納」他

整理収納全般のテーマでお受けします。内容、ご予算等お気軽にご相談ください。

○資格取得講座＜整理収納アドバイザー2級認定講座＞ご希望日をお知らせください



朱夏らいつ

森 由香（もり ゆか）

- 整理収納コンサルタント
- 整理収納アドバイザー認定講座講師
- 企業内整理収納マネージャー
- 整理収納教育士
- ファイリングデザイナー(1級)
- 整理収納アドバイザー
- ルームスタイリスト(1級)

〈朱夏らいつ〉

中国の五行説では、青い春（青春）の次に来る季節は朱い夏（朱夏）です [朱夏らいつ] のネーミングには、人生の朱い夏を頑張る皆さんと暮らし、そして、自分を応援する意味が込められています

発行日：2016年5月1日（日）No.17

編集&発行：朱夏らいつ 森 由香

HP : <https://shuka-life.com>

E-mail : info@shuka-life.com



トピックス



～老舗料亭の女将に学ぶ～

5月第二日曜は母の日。そこで、今回は友人のお母さんの話です。

友人の実家は老舗料亭ですが、完全な女系家族なので、代々家を継いでいくのは長女です。

今は友人のお姉さんが女将ですが、私がよくお邪魔していた頃はお母さん、それ以前はお祖母さんが店を切り盛りしていました。

先代の女将(友人のお母さん)は、穏やかな人ですが、お店を動かしていた頃は「つべこべ言わずとにかくやってみなさい」と言っていたそうです。

言われた事に対して、疑問や不満があってもまず、やってみなさい、という事です。実際に、女将もそうして、つべこべ言わずにやってきたのだと思います。

それによって、何かを納得したり、不具合を改善したりしながら、代々の商売のやり方を尊重しつつも時代に上手く適応し、店を守ってきたのだと思います。

経験から、やってみると見えてくる事があるとわかっているのを、それを、跡を継ぐ次世代に伝えたかったのでしょう。「とにかくやってみる」が大きなものを支えてきたことがわかります。



片づけを考える時、「モノを元の場所に戻す」を習慣化することが大切らしいという事はうっすら、わかっていますが、なかなかこれが出来なかつたりします。

そんな時、後回しにしたり、出来ない言い訳を探したりしないで、とにかく「定位置に戻す」をやってみるのもいいですね。続けていくうちに習慣として定着してくれば、家が片づいてくる事を実感できるでしょうし、位置の問題や不要なモノの発見など問題があればそれが浮き彫りになって解決につながり見えてくるものがあるはず。

「とにかくやってみる」片づけ以外でも暮らしの中での色々なシーンで実践してみたいと思います。

整理収納用語の解説

～先入れ先出し～



先に入れたモノを順番に従い、先に使うという意味です。賞味期限があるモノだけを気にするのではなく、モノには、全てに劣化がある事を意識して、早めに使う必要があります。モノは、後から入れたモノを上積みしてしまったり、手前に入れてしまうと先に入れたモノが使いにくい状態になります。「先入れ先出し」をするには、積み上げるより並べる、前後より左右を使う、などの工夫が必要です。

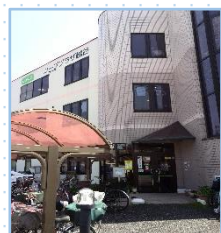
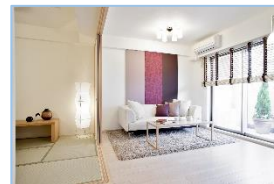
インテリアのワンポイント⑰

今回は内装材の色合わせのヒントです。

色は黒味が強いと重たい印象になり、逆に白味が強いと軽い印象になります。内装材を選ぶときにこの特徴を利用すると同じ広さの部屋でもイメージが違ってきます。

部屋の中では、床に比較的重めの色を、壁にはそれよりも明るい色を使い、天井にはさらに明るい色を選んでいくと空間が上に広がり伸びやかな印象になります。

また、暗い色は引き締まって見え、明るい色は膨張して見えるので、狭い空間ではこの特徴も考慮して全体的に明るめの色を使い、床から壁、壁から天井に向かい少しずつトーンを上げていけば、開放的な雰囲気が出せます。



○写真の電子化と整理術
(コープカルチャー越谷)

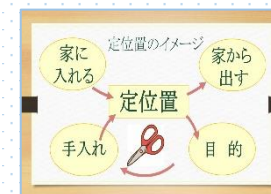
写真を電子化してファイル分けする、ネットを利用した時代に合った写真整理の方法を提案しました

今月の講習会から



○整理収納講座
(クリエイト南桜井教室)

整理環境図について学び、自身の家の中でのモノの流れについて意見交換しました。



モノ語り

◆「手」と「空」の間



明確な理由はないけれども、食器を洗うのは好き。以前は食洗器を使っていたが、どうにも任せる(?)事が出来ずに結局は乾燥機能だけを使っていた。

そこで、壊れたのを機に食器乾燥機に買い替えてしまった。

乾燥機にしたのは、食器を洗うのは好きだけど、拭くのは好きではないからである。(我ながら面倒な性格である)

先日、乾燥機も古くなってきたので、新しいモノを買う事に決めて処分した。とりあえず、仮の洗いかごを使っているが、乾燥機よりもサイズが小さくなった分、キッチンが広がった気がして気持ちがいい。

さて、どうするか。拭く手間か、空間か…。ややこしいこだわりの為、図らずも手と空の間で、悩んでいるのである。

収納グッズ

～デラ クリップ～



紙類の保存はクリアファイルを使うと簡単ですが、長期保存には向きません。このクリップで紙を挟めば、穴をあけずにファイルに綴じる事ができ、保存の為に面倒が減ります

- ・値段 340円税込み (東急ハンズ柏)
- ・販売元 (株)パレット

本の紹介

小さな暮らしのすすめ

月刊「望星」編集部



手に余る程のモノを抱えている事で得られてきた幸せ感をどの様に考えれば小さく暮らす事でも保てるのか? その答えの見つけ方がこの本にあります。

定価: 1,728円(税込)

ブログでも本の紹介をしています
朱夏とLIFEのお片づけ日記
→ <https://ameblo.jp/shukalife>



～整理収納相談 Q&A～

- ・Q お祝いやお返しでもらったモノがもったいなくて処分できずに困っています。
- ・A 贈答品は、質の高いモノが多いので、日常使いにする事が思いつきませんが、まず、ご自宅で使う事を考えてみましょう。
こだわりがなく使っている今の食器や寝具などを上質なモノに替えたなら、使いやすさを感じて気分がよくなるのではないのでしょうか。
せっかく縁あって家に入ってきたモノですから処分するつもりで使ってみる事をお勧めします。